

**製品名: PKC  $\epsilon$  ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16203**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	83kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PRKCE
別名	PRKCE; PKCE; Protein kinase C epsilon type; nPKC-epsilon
遺伝子 ID	5581.0
SwissProt ID	Q02156
免疫原	抗血清はヒト PKC イプシロン由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 688-737

**背景**

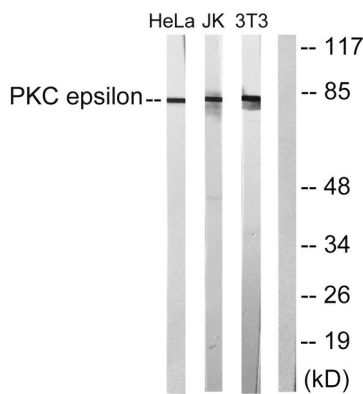
プロテインキナーゼ C イプシロン (PRKCE) ホモサピエンス プロテインキナーゼ C (PKC) は、カルシウムとセカンドメッセンジャーのジアシルグリセロールによって活性化されるセリンおよびスレオニン特異的プロテインキナーゼのファミリーです。 PKC ファミリー

のメンバーは、さまざまなタンパク質標的をリン酸化します。また、多様な細胞シグナル伝達経路に関与していることが知られています。PKC ファミリーのメンバーは、腫瘍プロモーターのクラスであるホルボールエステルの主要な受容体としても機能します。PKC ファミリーの各メンバーは、特定の発現プロファイルを持ち、細胞内で異なる役割を果たしていると考えられています。この遺伝子によってコードされているタンパク質は、PKC ファミリーのメンバーの 1 つです。このキナーゼは、ニューロンチャネルの活性化、アポトーシス、虚血からの心臓保護、熱ショック応答、インスリンエキソサイトーシスなど、さまざまな細胞機能に関与していることが示されています。マウスのノックアウト研究では、このキナーゼが活性化されたマクロ触媒活性におけるリポ多糖類 (LPS) を介したシグナル伝達に重要であることが示唆されています:  $ATP + \text{タンパク質} = ADP + \text{リン酸化タンパク質}$ 。ドメイン: ホルボールエステル/DAG 型領域 1 (C1A) および 2 (C1B) を含む C1 ドメインはジアシルグリセロール センサーであり、C2 ドメインは非カルシウム結合ドメインです。、酵素制御: 完全に活性化するには、3 つの特定の部位、Thr-566 (キナーゼ ドメインの活性化ループ)、Thr-710 (ターン モチーフ)、および Ser-729 (疎水性領域) をリン酸化する必要があります。、機能: PKC はジアシルグリセロールによって活性化され、次にさまざまな細胞タンパク質をリン酸化します。PKC は、腫瘍プロモーターの一種であるホルボールエステルの受容体としても機能します。、機能: カルシウム非依存性、リン脂質依存性、セリンおよびスレオニン特異的酵素です。、PTM: PDPK1 による Thr-566 のリン酸化は、Ser-729 の自己リン酸化を引き起こします。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。AGC Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。PKC サブファミリー。、類似性: 1 つの AGC キナーゼ C 末端ドメインを含みます。、類似性: 1 つの C2 ドメインを含みます。、類似性: 1 つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。、類似性: 2 つのホルボールエステル/DAG 型ジンクフィンガーを含みます。、サブユニット: TRIM63 および GN2BL1 と三元複合体を形成します。、

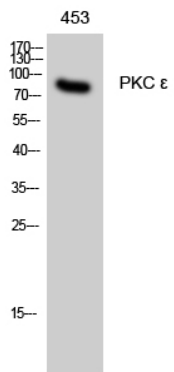
## 研究分野

微小管制御; アクチンダイナミクスの制御; 幹細胞経路; インスリン受容体; B 細胞受容体; AMPK

## 画像データ



PMA 125 ng/ml 30 $\mu$ l 処理した HeLa 細胞、Jurkat 細胞、および 3T3 細胞のライセートを PKC イプシロン抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンには合成ペプチドでブロッキングした。



1: 500 に希釈した PKCε ポリクローナル抗体を用いた 453 細胞のウェスタンブロット解析